

中学校特別支援教室の拠点校の増設について

1 経緯

令和6年4月現在、文京区立中学校には全校に特別支援教室を設置しており、文京区立文林中学校を拠点校としている。

これまでの文京区特別支援教育振興委員会における検討では、教員の適正な配置を区内で行うことを考えれば、2校以上の拠点校についても検討が必要であると審議された。年々、中学校特別支援教室の人数は増えており、通常の学級で支援を必要とする生徒数も増えている。【資料1】

拠点校が1つの状況では、巡回校との連絡や訪問の負担が大きく、教員間の連携や通常の学級に在籍している生徒の支援・助言のために十分な時間をとることができず、特別支援教室の指導の評価も難しくなってくる。

今後、通常の学級で支援を必要とする生徒が増え、より通常の学級との連携の強化を図っていくことが重要であるため、拠点校を3校に増やすことが必要であると考えます。

文京区全体の地域バランスを考慮し、区の北東部に拠点校である文林中学校があることを踏まえ、区の東部の本郷台中学校、西部の音羽中学校に拠点校をつくることとした。【資料2】

2 開設時期

令和7年4月

3 拠点校の規模

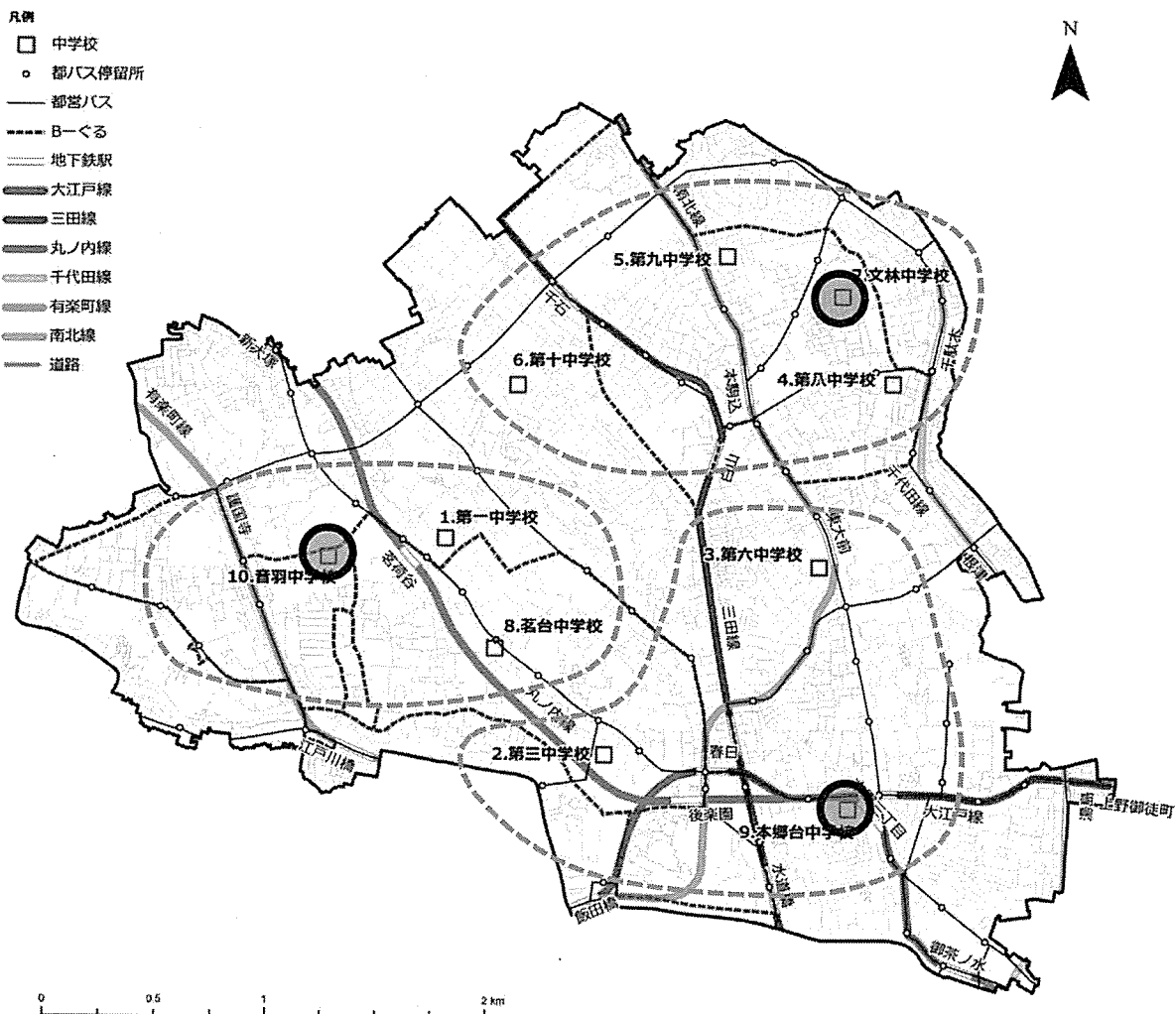
文林中学校	生徒数	35名程度
本郷台中学校	生徒数	20名程度
音羽中学校	生徒数	20名程度

4 スケジュール（予定）

令和6年12月	教育委員会報告
	合同校園長会報告
2月	特別支援学級設置校長会報告
	保護者へ説明お便り送付

5 その他

中学校の位置関係



<新しい拠点校ごとの特別支援教室利用人数（令和6年5月現在）>

拠点校ごとのグループ	特別支援教室利用人数
文林中巡回校グループ (文林中、第八中、第九中、第十中)	34
本郷台中巡回校グループ (本郷台中、第三中、第六中)	16
音羽中巡回校グループ (音羽中、第一中、茗台中)	21